

第1章 業務概要

1. 業務目的

県では、地理的な特徴から、人が容易に立ち入ることができないために、日常的な海岸清掃活動等が行われず、プラスチックごみを中心とした漂着ごみが大量に堆積している海岸が、離島を含め多く存在するものの、現状を把握できていなかったことから、令和3年度には、南予地域の立入困難地域における漂着ごみの現状把握調査、令和4年度には、中予地域及び今治市（離島を含む）の立入困難地域における漂着ごみの現状把握調査に加え、令和3年度の調査結果で特に漂着ごみが多く確認された南予地域10地点における年2回の現状把握調査を行った。

令和5年度の本業務では、今治市を除く東予地域（離島を含む）の立入困難な海岸での漂着ごみの現状把握調査を実施し、調査結果を基に分布図を作成するとともに、これまでの令和3・4年度調査を踏まえ、特に漂着ごみが多く確認された14地点において年2回の現状把握調査を実施し、季節の変化等を把握することにより、効果的な回収時期を分析するとともに、地域ごとの特色を明らかにした。

2. 業務期間

令和5年5月2日から令和6年3月15日まで

3. 業務実施者

発注者 愛媛県県民環境部環境局循環型社会推進課

TEL 089-912-2356 FAX 089-912-2354

受注者 一般社団法人 E.C オーシャンズ 代表理事 岩田功次

TEL 0894-27-0877 FAX 0894-24-3327

4. 業務内容

(1) 調査対象海岸

東予地域（今治市を除く）：陸からの進入が困難であるため、漂着ごみの回収が手つかずとなり、漂着ごみが多く堆積している海岸（離島を含む）

中予地域・東予地域(今治市)：令和4年度調査で特に漂着ごみが多く確認された4地点（松山市2地点・今治市2地点）

南予地域：令和3年度調査で特に漂着ごみが多く確認された10地点（伊方町3地点・宇和島市3地点、愛南町4地点）

(2) 調査方法

ア 漂着ごみの有無の確認

船舶から目視等により調査対象海岸を確認し、漂着ごみの有無を確認した。

イ 漂着ごみの評価

漂着ごみが確認された海岸について、船舶から上陸し、又は上陸が困難な場合は接岸し、目視及び写真撮影により、漂着ごみの量及び種類を評価し、記録した。なお、漂着ごみの評価は、「水辺の散乱ごみ指標評価手法(海岸版)」

(2004年、国土交通省東北地方整備局、JEAN/クリーンアップ全国事務局及び特定非営利活動法人パートナーシップオフィス) に準じて、以下の手順で行った。

(ア) 調査対象の海岸を見渡し、平均的な漂着量の場所を調査ポイントとして設定。

(イ) 調査ポイントに海岸線 10メートルの調査区画を設定。

※この時、海岸の距離や形状等による漂着量の偏りから判断し、必要に応じて複数箇所を調査区画に設定。

(ウ) 調査区画における漂着ごみの量を、目視及び写真撮影により確認し、「水辺の散乱ごみ指標評価手法(海岸版)」のランク表に基づき、評価ランクを設定。

(エ) また、海岸内の主要な漂着ごみの種類を記録するとともに、かさ量が大きい発泡スチロール製フロート等については、個数を記録。

(3) 調査回数

東予地域(今治市を除く)：1回

中予地域・東予地域(今治市)・南予地域：2回(昨年度調査と同時期を含む)

(4) 調査時期

調査時期は、表1に示すとおりとした。

表1 各地点の調査時期

地点	調査時期
南予地域(1回目)	令和5年5月20日～7月31日
中予地域・東予地域(今治市)(1回目)	令和5年5月20日～7月20日
東予地域(今治市を除く)	令和5年7月1日～10月31日
南予地域(2回目)	令和5年8月1日～10月31日
中予地域・東予地域(今治市)(2回目)	令和5年10月1日～10月31日

(5) 事前準備

衛星写真で地形を確認したうえで調査を実施した。

02 水辺の散乱ゴミ指標評価手法のランクについて

水辺の散乱ごみの指標評価手法：ランク表

ランク表を使えば、客観的にごみの量を表現できます。これで、もう混乱しませんね。

”ランク”と漂着ごみの量（水辺に散乱しているごみ）、20Lのごみ袋で回収した場合の袋の数の対応表です。いずれも、海岸線の距離10メートル当たりの漂着量です。

ゴミ袋数と<ランク>の対応表

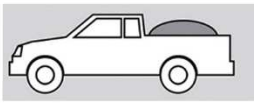

[海岸線延長距離10m]×[海岸の奥行き]の範囲の漂着ゴミを回収したと想定

ランク	ごみ袋数	かさ容量 (リットル)	回収したごみのかさ容量の表現として
0	0	0	(自然物を除いて)全くゴミがない
T	約 1/8	2.5	500ml のペットボトルならば 3-4本分程度 
1	約 1/4	5	2Lのペットボトルならば 2本分程度 
2	約 1/2	10	2Lのペットボトルならば 4本分程度 200-350ml の飲料缶ならば 15本分程度 
3	約 1	20	2Lのペットボトルならば 8本分程度 200-350ml の飲料缶ならば 30本分程度 ポリタンクならば 1本分程度 
4	約 2	40	2Lのペットボトルならば 16本分程度 20L燃料タンクならば 2本分程度 
5	約 4	80	2Lのペットボトルならば 32本分程度 20L燃料タンクならば 4本分程度 
6	約 8	160	ドラム缶ならば 1本分未満 
7	約 16	320	ドラム缶ならば 1.5本分程度 
8	約 32	640	ドラム缶ならば 3本分程度 
9	約 64	1,280	1立方メートル程度 
10	約 128	2,560	ミドルサイズのピックアップトラックで 1台分程度 

※判断が難しい場合は、別紙「ゴミの状況<ランク>別の写真撮影例」を参考にして判定して下さい。

3

特定非営利活動法人パートナーシップオフィス
http://npo-po.net

【10】 =  =  5,5mの和船

評価ランク【10】は、ミドルサイズのトラック・又は軽トラック1台分程度
今回は道路が無い場所なので、上記の船で表現する。

5. 業務スケジュール

業務スケジュールは表2に示すとおりとした。

表2 業務スケジュール

項目	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画・準備	業務計画、調査準備		■										
調査	南予1 中予・今治市1		■	■	■								
	東予(今治市を除く) 南予2 中予・今治市2				■	■	■	■					
打合せ・協議			■			■		■	■	■			
成果品	報告書作成							■	■	■	■	■	■

